

2026年4月入学  
岡山大学大学院環境生命自然科学研究科  
博士前期課程  
一般入試・社会人入試 入学試験問題

専門科目

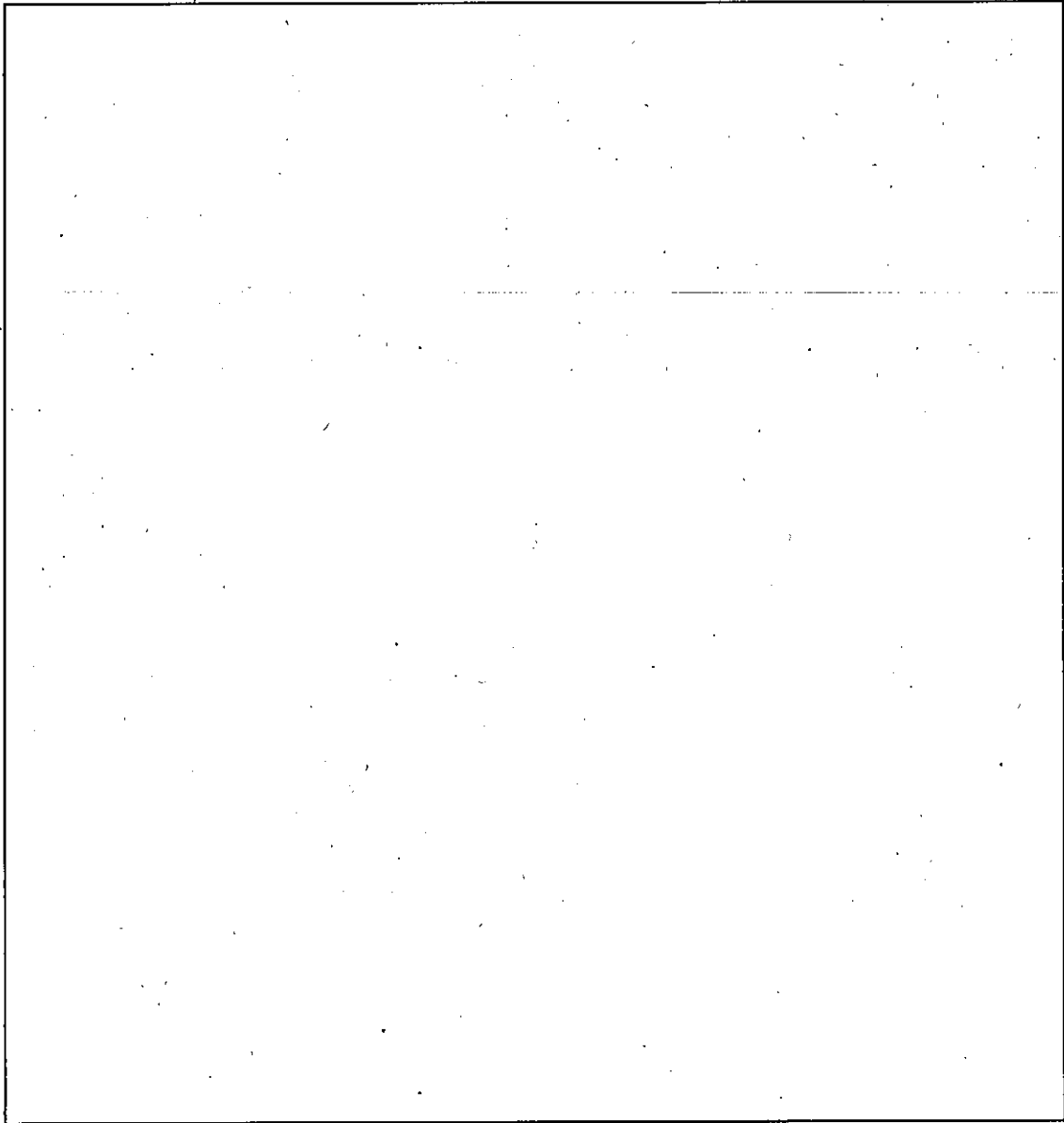
地球環境生命科学学位プログラム  
地域環境学コース

注 意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題冊子は1冊、解答用紙は4枚、下書き用紙は2枚です。
- 3 すべての解答用紙の所定欄に受験番号を記入しなさい。
- 4 解答は、各問それぞれ解答用紙の指定されたところに書きなさい。
- 5 共通科目（第1問）は全員が解答しなさい。
- 6 選択科目は第2問を解答しなさい。
- 7 試験終了後、全ての解答用紙を監督の指示に従って提出しなさい。
- 8 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

第1問 (共通科目)

次の文章を読んで、以下の問1～問4に答えなさい。

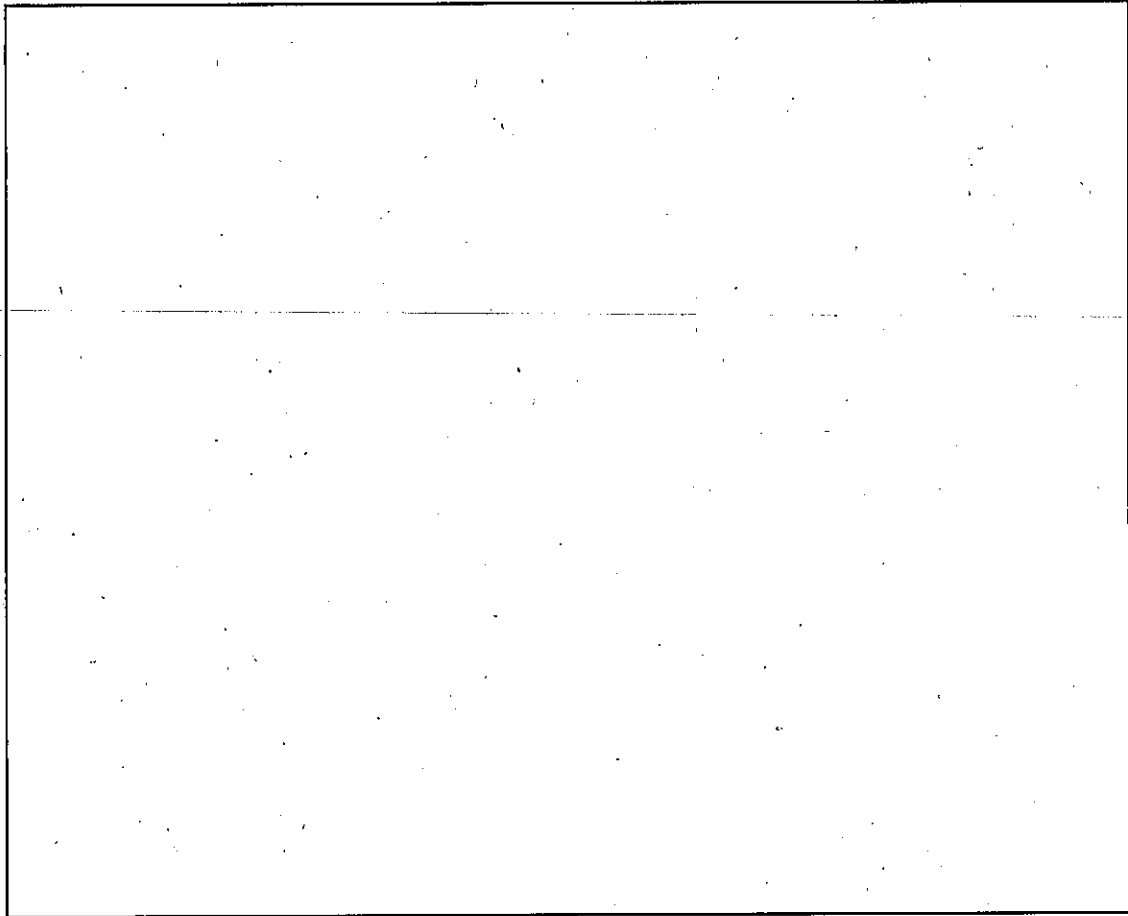


(吉川夏樹 (2022) 『田んぼダムは流域治水に貢献できるのか?』  
環境技術, 51 巻 4 号より引用, 一部改変)

- 問1 下線部①について、水田の持つ「地下水かん養機能」、「洪水緩和機能」を具体的に説明しながら、水田が流域水循環に提供する恩恵について150～200字で述べなさい。
- 問2 下線部②について、気候変動や水田面積の減少がどのように水害リスクを高めるのか、150～200字で具体的に説明しなさい。
- 問3 下線部③について、流域治水における農業分野の取り組みとして田んぼダムへの期待が高まっている。田んぼダムとはどのようなものか、100～150字で答えなさい。
- 問4 下線部④について、田んぼダムの普及には課題もある。田んぼダムの普及についてどのような課題が考えられるか、取り組み実施者である農家の立場をふまえ100～150字で答えなさい。

第2問 (選択科目：①【応用生態学・環境物質循環学・環境保全学】)

次の文章を読んで、以下の問1～問4に答えなさい。



(農林水産省農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課(2025)『外来種等が農業水利施設に及ぼす影響と対策の手引き(改訂版)』より引用、一部改変)

※ ストレーナー：かんがいや農業用水供給システムにおいて、流体中の固形異物や浮遊物を除去し、ポンプやスプリンクラーなどの機器の目詰まりや故障を防止するために設置されるフィルター装置

問1 下線部(ア)について、特定外来生物に対して法的に禁止されている行為のうち5つあげなさい。

問2 下線部(イ)について、ナガエツルノゲイトウは農業にどのような悪影響を及ぼすと考えられるか、説明しなさい。

問3 下線部(ウ)について、タイワンシジミは在来種に対してどのような悪影響を及ぼすと考えられるか、説明しなさい。

問4 下線部(エ)について、環境DNA分析の概要を説明したうえで、パイプラインや管水路における環境DNA分析を活用したタイワンシジミの効果的な駆除方法を具体的に説明しなさい。

---

空白ページ